

## 平成27年度 明石市地域自立支援協議会

### くらし部会 リポート Vol.9 平成28年1月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

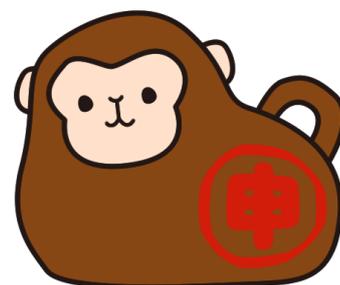
住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター 1 階）

電話番号 078-923-9155 ファクシミリ 078-923-9156

【意見投稿用アドレス】 [akashi\\_jiritsushien@yahoo.co.jp](mailto:akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp)

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

# 新年あけまして おめでとうございます



皆様新年いかがお過ごしでしょうか。  
本年も明石市地域自立支援協議会 くらし部会を  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、くらし部会 WG「ハートふるあかし」では、昨年度に引き続き、「障害福祉サービス等従事者向け精神保健福祉研修（連続講座）」を開催致しました。今年度も多くのお申し込みを頂き、受講者の皆様と共に、精神保健福祉に関する知識をしっかりと学び、また、日ごろの支援を振り返る機会をもつことができました。今年度は新たな試みとして、当事者（精神障害者）に自らの体験談や支援者に伝えたい事をお話いただく機会や、精神疾患の基礎的理解に関する講義を、昨年度の1コマ（精神疾患の基本的理解）から3コマ（統合失調症の理解・気分障害の理解・発達障害の理解）に増やし、それぞれの疾患について、より詳しく学べるようにしました。今号は、その第1日目の様子を、障害者地域生活支援センターほほえみ（相談支援事業所）の野口忠男さんにリポート頂きます。

#### 講義1 「当事者理解」

講義1では、3名の当事者を迎え、体験談や支援者に伝えたい事をお話いただきました。3名共、大勢の前で話す機会は初めてで、受講生が支援者という事もあり、最初はとても緊張していましたが、ご自身の体験や支援者に伝えたい事を、ご自身の言葉で丁寧に話されていました。原稿を用意していたこともあり、3名共落ち着いてお話しされ、ご自身の持ち時間が終わると、ほっと安堵の表情になっていました。受講生の皆様も当事者のお話を興味深く聴いておられ、講義後のグループワークでは、7グループに分かれて「支援者に求められる姿勢とは」というテーマで話し合い、バイスティックの7原則を活用しながら、考察を深めました。アンケートの結果からも、今後の支援に繋がる内容だったのではと思っています。

## 支援者に伝えたいこと（抜粋）

【管理番号036】

- ・「精神障害といっても、一人一人違います。相手との関係性ができていないと、どういう性格が分からず理解できないと思います。支援者はそこをしっかりと理解するような努力が必要だと思います。また、当事者は不満があっても言葉できちんと表現できない人が多いから、ジレンマみたいなものがあると思います。」
- ・「障害をもった人々は、何か困る事や分からない事が多く、そんな方にも優しく丁寧に教えてもらえると助かるし、声掛けも重要だと思います。何気ない会話も大切にあげた方が落ち着くし、その人の事を十分に分かってあげられるのではないかと思います。」
- ・「頭ごなしに病気や障害があるからと言って、決めつけしないで欲しい。人それぞれ個人差はあると思いますが、優しさを望んでいるわけじゃないんです。普通に接して欲しいんです。精神障害があるのを隠して就労した事があります。なぜ精神障害があるのを隠して就職したのかと考えると、やはり偏見もあって伝えられなかった。怖かったんです。」

## 受講者の感想（抜粋）

- ・支援者からの立場からではない当事者の方の生きにくさ、大変さ、辛さ、現在に至るまでのいろいろな苦しい思い。勇気を持って話ししていただいたことに感謝します。
- ・「優しさを望んでいるわけではない。普通に接して欲しいです。」という言葉が特に心に残っています。
- ・障害を理解し、人間として「普通」にかかわってほしいという、皆さんの思いが理解できた。
- ・日々の生活で、日常会話の声掛けが嬉しかったり、いつでも相談できる場所があることで安心する事を学んだ。日常生活の会話を大切にしようと思った。
- ・改めて、障害を見るのではなく、個人として一人一人を見ていくことの大切さを学ぶ事ができた。

## 講義2「統合失調症の理解と対処」

講義2では、関西青少年サナトリウムの西村暢宏先生を講師に迎え、統合失調症の理解というテーマで講義をしていただきました。講義内容は、【①統合失調症とはどういった病気なのか ②統合失調症は特別な病気？③発症しやすい年齢はあるの？④統合失調症の原因／きっかけ ⑤統合失調症の症状（陽性症状・陰性症状・認知機能障害）⑥統合失調症の経過 ⑦統合失調症の治療】です。統合失調症について、とてもわかりやすく講義をしていただき、受講者の皆様も理解を深める事ができたと思います。後半はグループに分かれ、いくつかの症例に対して、支援者としてどのように対処すべきかを話し合ったことを発表し、西村先生からコメントを頂きながら、統合失調症の方への支援のあり方について学びを深めました。西村先生がひとつひとつ丁寧にコメントを下さり、質疑応答でも受講生の皆様からの疑問に答えて下さいました。長時間に渡って講義と演習をして下さった西村先生に感謝の気持ちで一杯です。



- ・統合失調症の具体的症状について学べた。接し方として、「共感」と「非侵襲的態度」で寄り添うことを心掛けたい。
- ・グループワークでいろいろな方と意見交換ができ、その後、先生の解説があったので、非常にわかりやすく、対応なども教えていただけたので、今まで受けた精神保健研修の中で一番良かった。
- ・実際に現場で治療にあたっている先生の話聞いて良かった。

## 受講者の感想（抜粋）